

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

今日は、酒造りの神様と仰がれる奈良・太神神社で新酒の「醸造安全祈願祭」が行われることから「酒まつり」の日だ。祭典では、神杉を手にした4

人の巫女による「うま酒みわの舞」が奉奏され、酒造家や杜氏が多数参列し醸造の安全を祈願する祭りの日だ。秋から冬にかけて搾りたての日本酒である「新酒」が愉しめる時期、酒蔵や酒屋の軒先に吊り下げられたばかりのときは青々としている杉玉も、徐々に枯れて茶色に変化する様子に新酒の熟成度合いを想い馳せるのも楽しみだ。

寒い時期、人里に雀が少ないのは、海で蛤になると中国に古くから信じられていた俗信に、「雀海中に入って蛤

となる」がある。鳥が貝になるとは荒唐無稽だか、俳句の世界でも秋の季語に「雀蛤となる」がある。変わりやすい今の晩秋を例える表現でもある。

11月上旬に長野県長寿社会開発センター大北地区賛助会・白馬小谷グループが計画した特定外来植物セイダカアワダチソウの駆除作業に参加する。年々植生が拡大する中、地域の景観を守るべく活動している。活動中の蛇等の野外動物からの被害防止の観点から11月貝になるとは荒唐無稽だか、俳句の世界でも秋の季語に「雀蛤となる」がある。変わりやすい今の晩秋を例える表現でもある。

## 特定外来植物の地域侵入に危機感を持つ

書防止の観点から11月に活動するのだが、今年にはクマの出没情報が多発しているためか、参加者は少なかった。今年も、白馬村で集落の維持や、活性化活動に取り組んでいる集落支援員3名が活動に

参加、また前日に役員が事前調査したこともあり村内の予定箇所を展開することができた。拡大する植生を危惧した地域では独自の取組事例がみられ、全

「サンふじり」が全域で実施されるよう望むばかりだ。当日は、集落支援員が「大町市で除草剤散布の事例があるので」と試験的に除草剤を持参。行政の積極的な対応に驚く。来年度除草剤散布効果を検証する取組に期待する。

年にはエシプトで栽培されたとの記録がある歴史ある果実だ。近年の温暖化等による影響が、身近な食材にも影

響しているのだと驚かされた。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



8名の半日の作業でも大量の駆除成果。作業後の地域の景観の素晴らしさに充実感を感じる